

01 THU	
02 FRI	
03 SAT	■美井展(発表部門)(4日まで)
04 SUN	
05 MON	■就職ガイダンス③(芸術学部)
06 TUE	■就職ガイダンス③(工学部)
07 WED	■就職ガイダンス③(情報学部・生物生命学部)
08 THU	
09 FRI	
10 SAT	
11 SUN	
12 MON	■自己分析(表現)①(芸術学部) ■AO試験・前期エントリー受付開始(8月2日まで) ※実施学部/工学部・芸術学部・情報学部・生物生命学部
13 TUE	■自己分析(表現)①(工学部)
14 WED	■自己分析(表現)①(情報学部・生物生命学部)
15 THU	
16 FRI	
17 SAT	
18 SUN	
19 MON	海の日
20 TUE	
21 WED	
22 THU	
23 FRI	
24 SAT	■補講日 ■第2回キャンパス相談会
25 SUN	
26 MON	
27 TUE	
28 WED	■補講日
29 THU	■前期定期試験開始(8月5日まで)
30 FRI	
31 SAT	

8 AUGUST

01 SUN	
02 MON	
03 TUE	
04 WED	
05 THU	
06 FRI	■夏季休業開始(9月20日まで)
07 SAT	■第2回オープンキャンパス
08 SUN	
09 MON	■面接対策講習会A(10日まで)
10 TUE	
11 WED	■グループディスカッションA講習(12日まで)
12 THU	
13 FRI	
14 SAT	
15 SUN	
16 MON	
17 TUE	
18 WED	
19 THU	
20 FRI	
21 SAT	
22 SUN	■第3回オープンキャンパス
23 MON	
24 TUE	
25 WED	
26 THU	■薬学部CBT体験受験日(27日まで)
27 FRI	
28 SAT	
29 SUN	
30 MON	
31 TUE	

9 SEPTEMBER

01 WED	■AO前期1次審査結果通知最終日 ■AO試験・前期 願書受付開始(9月13日まで) ※実施学部/工学部・芸術学部・情報学部・生物生命学部
02 THU	
03 FRI	
04 SAT	■地区別保護者懇談会(大分・広島・静岡)
05 SUN	■地区別保護者懇談会(福岡・愛媛・山口・東京)
06 MON	■指定校推薦(専門高校対象) 前期願書受付開始(10月1日まで) ■特別選抜願書受付開始(10月1日まで) ※実施学部/芸術学部 ■TOEIC®夏季対策講座(土日を除く)(9月17日まで)
07 TUE	
08 WED	
09 THU	
10 FRI	
11 SAT	■地区別保護者懇談会(沖縄・鹿児島・長崎・岡山)
12 SUN	■地区別保護者懇談会(宮崎・佐賀・大阪)
13 MON	
14 TUE	■面接対策講習会B(15日まで)
15 WED	
16 THU	■グループディスカッションB講習(17日まで)
17 FRI	■AO試験・前期 最終面接日
18 SAT	
19 SUN	
20 MON	敬老の日
21 TUE	■オリエンテーション ■適職診断テスト(2年生)
22 WED	■授業開始
23 THU	秋分の日
24 FRI	
25 SAT	■第4回オープンキャンパス
26 SUN	
27 MON	
28 TUE	
29 WED	■AO試験・前期 合格発表
30 THU	

SOJO

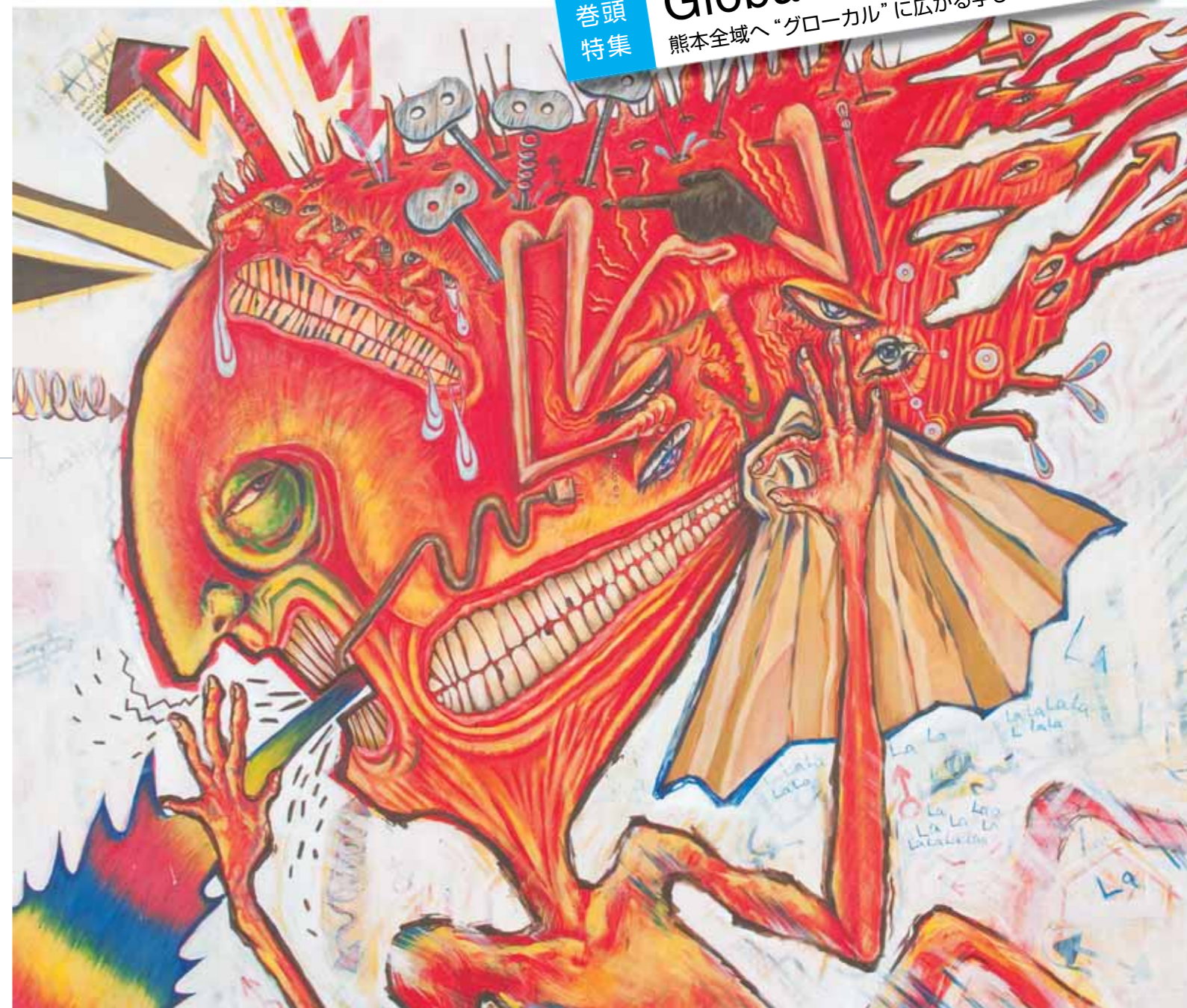


崇城大学 ● 広報誌
がくふう

VOL.56
Summer
2010

UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

巻頭
特集 Global X Local
熊本全域へ“グローバル”に広がる学びのフィールド



2010 OPEN CAMPUS

オープンキャンパスに

見て 聞いて

体験する



- <開催日時>
- 第2回 ● 8月07日[土] 9:30~15:00
- 第3回 ● 8月22日[日] 9:30~15:00
- 第4回 ● 9月25日[土] 10:00~14:00

★キャンパス相談会開催中★詳細は本学ホームページへ

お問合せは入試課まで
TEL.096-326-6810
nyushi@ofc.sojo-u.ac.jp

崇城大学 SOJO UNIVERSITY

- 工 学 部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程スカイエンジニアコース>
<専修課程航空整備士コース><専修課程パイロットコース>
- 芸 術 学 部 美術学科/デザイン学科
- 情 報 学 部 情報学科
- 生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科
- 薬 学 部 薬学科
- 大学院工学研究科
<博士後期課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械システム工学専攻/
応用化学専攻/環境社会工学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
<修士課程>応用情報学専攻(平成23年度開設予定)/機械工学専攻/応用化学専攻/
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
- 大学院芸術研究科
<博士後期課程>芸術学専攻
<修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO 検索 <http://www.sojo-u.ac.jp/>

〒860-0082 熊本市池田4-22-1
TEL.096-326-3111(代表) FAX.096-326-3000
広報誌「がくふう」第56号 発行/2010年6月
崇城大学広報誌編集委員会・広報課(koho@ofc.sojo-u.ac.jp)

2011年度 入学試験情報

※記載は2010年中に実施される試験(2011年1月以降実施の試験は次号より紹介)

AO試験	前期	実施学部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		エントリー受付期間	07月12日[月]~08月02日[月]
		願書受付期間	09月01日[水]~09月13日[月]
		試験日	09月17日[金]
		合格発表	09月29日[水]
後期	実施学部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部	
	エントリー受付期間	10月04日[月]~10月29日[金]	
	願書受付期間	11月26日[金]~12月10日[金]	
	試験日	12月16日[木]	
	合格発表	12月22日[水]	

特別選抜試験	実施学部	■芸術学部
	願書受付期間	09月06日[月]~10月01日[金]
	試験日	10月09日[土]
	合格発表	10月14日[木]

指定校推薦試験	前期/専門高校	実施学部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	09月06日[月]~10月01日[金]
		試験日	10月09日[土]
		合格発表	10月14日[木]

後期/全指定校	実施学部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	10月18日[月]~10月29日[金]
	試験日	11月05日[金]
	合格発表	11月13日[土]

推薦試験 (兼特待生選考)	実施学部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	10月18日[月]~10月29日[金]
	試験日	11月05日[金]・11月06日[土]
	合格発表	11月13日[土]

推薦試験 一般・専願	実施学部	一般	■芸術学部 ■薬学部
		専願	■薬学部
		願書受付期間	10月18日[月]~10月29日[金]
		試験日	11月05日[金] 薬学部(専願) 11月06日[土] 芸術学部・薬学部(一般)
		合格発表	11月13日[土]

自己推薦試験	前期	実施学部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	11月22日[月]~12月10日[金]
		試験日	12月15日[水]
		合格発表	12月22日[水]

※宇宙航空システム工学科は総合課程スカイエンジニアコースのみ

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 航空整備士コース>

推薦試験 専願	願書受付期間	10月18日[月]~10月29日[金]
	試験日	11月06日[土]
	合格発表	11月13日[土]

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 パイロットコース>

AO試験	前期	エントリー受付期間	07月12日[月]~08月02日[月]
		願書受付期間	09月01日[水]~09月13日[月]
		試験日	09月17日[金]
		合格発表	09月29日[水]
		後期	エントリー受付期間
願書受付期間	11月26日[金]~12月10日[金]		
試験日	12月16日[木]		
合格発表	12月22日[水]		

推薦試験 一般	願書受付期間	10月18日[月]~10月29日[金]
	試験日	11月06日[土]
	合格発表	11月13日[土]



■表紙アートは、2010年3月に芸術学部美術学科・洋画コースを卒業した長嶺めぐみ(ながみめぐみ)さん(宮崎県・宮崎日本大学高校出身)の作品「MONSTER SONG」。卒業制作として取り組み、希望や不安といった自身の内面を意識しながら、自分にはできない表現を模索した意欲作。完成をまったくイメージせず、絵筆が動くままに描き、その過程から「これが自分の絵だ!!」と発見することができたそう。現在は首都圏に活動の拠点を移し、アルバイトをしながら制作に没頭する生活を始めたばかり。「東京でいろんな絵を見て、いろんな刺激を受けて、自分だけにしか描けない世界を追求したい。この絵のように希望と不安が入り混ざっているけれど、制作し続けて、いろんなことにチャレンジしたい」と語ってくれました。



CONTENTS

- 02 SPECIAL ARTICLE
Global × Local
熊本全域へ“グローバル”に広がる学びのフィールド
- 07 SERIES
九州・沖縄8県人の発見
- 09 A LABORATORY REVIEW
工学部 宇宙航空システム工学科 橋本研究室
芸術学部 デザイン学科 岩上研究室
- 11 NEWS
新任教員
平成22年度 科学研究費補助金 受給実績
NHK大学ロボコン2010に出場決定!!
上岡龍一教授が「熊本県立高等学校理数科研究発表大会」で講演
市民公開セミナー「観た・聴いた・知った!」の世界と未来の科学」開催のお知らせ
- 13 TOPICS
建築学科学部が熊本市・新町で古民家の再生計画案を発表
応用微生物工学専攻の大学院生らが
「日本農芸化学会2010年度大会」で研究成果を発表
「崇城大学芸術学部美術学科学部学生作品展」を開催
美術・芸術系学生と企業を結ぶ就活アート展「美ナビ展」に学生3名が入選
薬学部生40名が「AHA BLS Healthcare Provider」資格を取得
資格取得情報
- 14 THE HISTORY OF A PROFESSOR
工学部 ナノサイエンス学科 土橋和之 教授
- 15 ALUMNI
株式会社クレティス 笹川俊一さん
医療法人起生会 表参道吉田病院 船本幸太さん
- 16 INTERNATIONAL EXCHANGES
国際交流だより
CLUBS' ACTIVITY
建築研究同好会
ソフトテニス部
- 17 THIS IS MY FAVORITE BOOK
心響の一冊
- 18 LOCAL AREA COOPERATION
地域連携
SOJO COLLEGE INFORMATION
崇城大学専門学校からのお知らせ



熊本全域へ “グローバル”に広がる 学びのフィールド

SPECIAL ARTICLE

Global × Local

グローバルな発想から、ローカルに貢献する。
あるいはローカルな視点から、グローバルに活躍する。
今、地域社会や企業が大学に求めているのは、
そのような“グローバル”な展開力をもつ人材の養成であり、
崇城大学でもすでに、そのトレーニングとなる学びや、
さまざまな活動がスタートしています。
キーワードは「熊本全域へ“グローバル”に広がる学びのフィールド」。
地域の活性や持続可能な発展へ、地域と密に関わりながら、
深くも、広くも、根が張ることのできる人材をめざして、
“グローバル”な学びに取り組む崇城大学の学生たち。
課外をふくむ25例を紹介しましょう。



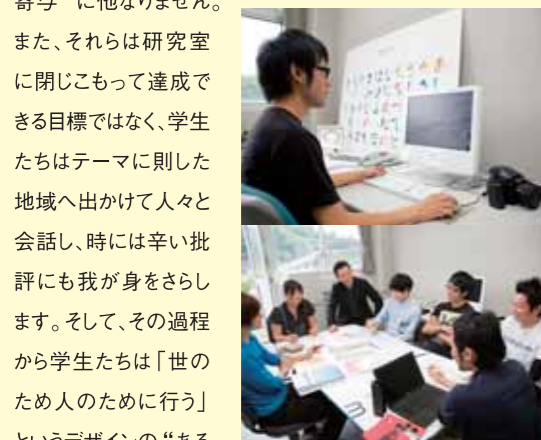
熊本市域での活動 編

“地域の未来”を担う人材育成へ
大学と地域が一体となった活動を
今後も続けていきたいと思います



芸術学部 デザイン学科
教授 森野晶人

KAB熊本朝日放送が発行した「城下町くまもと“まちXひと”ガイド2010」への制作参画は昨年度のことですが、当研究室では現在「阿蘇の響彩」と「MISSION Q(九州アーカイビング計画)」という2つのプロジェクトが進行しています。当然、それぞれのテーマやモチーフは異なるわけですが、“地域に関わるコンテンツをデザインする”ことについては終始一貫しています。それはすなわち、その地域にしか存在しない独自の情報を新たな視点から見出し、デザインの力によって誰もが視認できるようにすることであり、そのゴールは“地域の持続可能な発展への寄与”に他なりません。



また、それらは研究室に閉じこもって達成できる目標ではなく、学生たちはテーマに則した地域へ出かけて人々と話し、時には辛い批評にも我が身をさらします。そして、その過程から学生たちは「世のため人のために行う」というデザインの“あるべき姿”を自覚していきます。もちろん、そのような教育的価値はデザインの領域に限ったことではなく、崇城大学では今後も学びのフィールドをさらに広げていくことになるはず。“地域の未来”をグローバルな視点から担う人材育成へ、大学と地域が一体となった活動を続けていきたいと思います。



01 工学部 建築学科 内丸研究室
みずあかり オブジェ制作



2004年のスタート時に陸の灯と坪井川の浮灯籠を考案、市民や企業と連携した制作を続ける。内丸研究室では清正公前のオブジェ制作も担い、本学卒業後も関わる者が多数いる。

02 芸術学部 デザイン学科 漆原研究室
熊本城下町再現プロジェクト



コンピュータ・グラフィックによる熊本城下町の再現をテーマにプロジェクトをスタート。これまで卒業制作展を通じて、城の全体像や質感を伴う内部のCGを発表してきた。

03 学生自主団体
ボランティア・パトロール



2009年12月、呼びかけに応じた約20名の学生で隊を結成。学生や市民が、より安全・安心に過ごせる地域であるよう、池田キャンパスとその周辺をパトロールしている。

04 工学部 建築学科 西郷研究室
上熊本駅舎を活かしたまちづくり



旧JR上熊本駅舎の保存計画を地域協働で提案し、実現。市電電停として再生した駅舎を核としてイベントやワークショップを行っている。第6回「日本都市計画家協会賞まちづくり奨励賞」を受賞。

08 工学部 エコデザイン学科 森山研究室
ビオトープ・プロジェクト



芸術学部前の防災調整池を自然の生物が棲むビオトープとして造成するプロジェクト。中高生に呼びかけ、応募されたアイデアも採り入れた計画が実施に向けて進行している。

05 情報学部 情報学科 柿木研究室
上熊本商栄会のホームページ制作



上熊本商栄会の活性化と集客力向上をめざし、地域から親しまれる魅力的なホームページの制作・管理を研究。提案から採用、公開に向けて商栄会と定例会議を行っている。

09 芸術学部 デザイン学科 森野研究室
城下町くまもと
まちXひと ガイド2010 制作参画



KAB熊本朝日放送が番組をもとに発行した「城下町くまもと“まちXひと”ガイド2010」の制作に参画。学生たちは写真の一部撮影やイメージページのデザインを担当した。

06 工学部 建築学科
新町 古民家の再生計画



“まちづくり”をテーマとする課題として18名の学生が取り組み、新町に暮らす方々の協力を得て町家「鍵屋」にて再生計画を提案。模型はイベント時に一般公開された。

10 芸術学部 デザイン学科 岩上研究室
即席タイピーエン
「アサビー」開発協力



食品製造のベネフーズからの依頼を受け、若者層をターゲットとした即席タイピーエンの開発に協力。ネーミングやパッケージデザイン、PRポスターの制作などを行った。

07 工学部 エコデザイン学科 村田研究室
工学部 建築学科 内丸研究室
本妙寺桜灯籠



学生グループの提案によりスタート。3月最終土曜の“1夜限り”にも関わらず、9回の開催を経た今では“春の風物詩”に定着。本妙寺の貴重さが再認識される契機にもなった。

11 工学部 エコデザイン学科 橋村研究室
坪井川クリーン作戦



小島校区自治協議会と共同発足した「坪井川下流域再生プロジェクト」事業のひとつ。地元の方々と共に、漂着した流木など約2トン(トラック約20台分)のゴミを集めた。

熊本市



熊本県域での活動 編

地域との協働で鍛えられた学生たちが
地域の活力創出に貢献する日のために

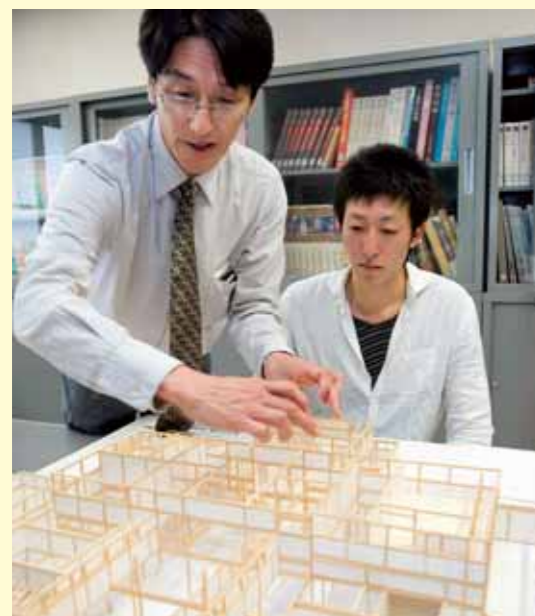


工学部 建築学科
講師 内丸恵一

“まちづくり”を主題とする当研究室では現在、「みずあかり」をはじめとする熊本市域の3件と県域での4件、県外1件、計8件のプロジェクトを進めています。また「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」を通じて培った山鹿市との信頼関係が、設計実務を伴う「さくら湯」再建プロジェクトに発展するといったこともあり、学生たちは、“まちづくり”と建築との連動性を実感しているようです。また、これらの多くは、研究課題であると同時に結果が求められる実際の仕事ですので、甘えが許されない状況下での“On Job Training”が、彼らに強さを与えてくれる



とも感じます。実際、地元に出向いての会議やプレゼンテーションの場では、住民の方々の厳しい意見をいただくこともありますが、その一方で、暖かい言葉や時には差し入れなどいただき、大きな愛情で迎えられていると感じる時が多々あります。おかげで学生たちは、机上の学習だけでは学ぶことのできない実践的場面での「建築することの意味」を実感し、それが卒業後の実務にも反映しているようです。地域の方々との協働により鍛えられた彼らが、地域の活力創出に貢献するであろう将来に向かって、そして何よりも地域の役に立つために、今後もこのような活動を学生たちと続けていきたいと思っています。



新さくら湯の計画模型

12 芸術学部 デザイン学科 森野研究室
阿蘇の響彩プロジェクト

2006年の春、「デザインの力により阿蘇の文化的景観を次代へ遺す」をテーマに発足したプロジェクト。情報デザインがもつ役割や可能性を模索し、現在22テーマを展開中。

15 工学部 建築学科 内丸研究室
山鹿市 さくら湯再建プロジェクト

「さくら湯・再生基本構想策定協議会」が山鹿市長に提言する基本計画の策定を担当。市民からの期待も高く、2012年度の竣工に向けて計画は実施設計のレベルに。

13 工学部 建築学科 秋元研究室
玉名市高瀬サテライト研究室

玉名市高瀬の古民家を談話処（サテライト研究室）へリノベーション。同地区の活性化に関する調査・研究の拠点として学生が常駐、イベント時には美術学科生との協働も行っている。

14 芸術学部 デザイン学科 本間研究室
工学部 建築学科 内丸研究室
山鹿灯籠浪漫・百華百彩

2003年、デザイン学科と建築学科の共同演習での発案をきっかけにスタート。日本観光協会や国土交通省、熊本県から表彰を受けるなど、その“観光振興力”が注目を集める。

16 芸術学部 デザイン学科 4年次生 錦戸秀雄くん
山鹿市 八千代座 建築100周年記念 イメージキャラクター制作

山鹿市の国指定重要文化財、芝居小屋「八千代座」が建築100周年を機にイメージキャラクターを全国公募。798点の応募から、デザイン学科4年次生・錦戸秀雄くん（長崎県・長崎工業高校出身）の作品が選ばれた。

18 総合教育 星加研究室
牛深商工会議所 商品開発支援

牛深商工会議所との産学連携によるブランディング・プロジェクトを昨夏に発足。新商品のパッケージデザイン提案を主に行い、試作を経て昨秋には物産展での販売に至った。

22 工学部 ナノサイエンス学科 西田研究室
工学部 エコデザイン学科 村田・田代・上野 各研究室
益城町 木山川水系河川浄化プロジェクト

協力協定を結ぶ益城町からの相談を受け、2008年1月から12月まで毎月1回の水質調査と2カ月に1度の流量調査を実施。学生を交えた分析を重ね、昨年3月に報告書を上梓した。

19 工学部 建築学科 秋元研究室
水俣市 湯の鶴地域 観光振興支援

水俣市による「湯の鶴地域観光振興計画」策定に係る支援業務として、同地域の課題の抽出と地域資源の発掘を担当。空き旅館や路地の活用など、学生視点での提案を行った。

23 芸術学部 デザイン学科 本間研究室
八代市 有園義肢社 歩行補助具「Kappo」共同開発

ユニバーサルデザインの実践をめざした産学連携プロジェクトとして2007年にスタート。半身マヒの方や高齢者の方の歩行補助具、「Kappo」の商品化に向けた試作が進んでいる。

20 工学部 建築学科 内丸研究室
御船町 恐竜のまちづくり

熊本県「まち育て塾」で半年間、御船町にて行ったワークショップで提案された「恐竜のまちづくり」というアイデアを採用。竹製の恐竜が町にあらわれる計画が進行している。

24 芸術学部 デザイン学科 森野研究室
九州アーカイビング計画 MISSION Q

九州新幹線の開通に伴い、失われていくであろう地域情報を記録・整理・保管（アーカイビング）。それらを“デザインの力”を通じて質の高いコンテンツに変換、発信していく。

17 工学部 建築学科 内丸研究室
宇土市 船場川 浮き灯籠

2008年、宇土市から市制50周年を記念するイベントの企画依頼を受けて提案。同年が1,500灯、2009年は倍の3,000灯となり、今秋に予定している第3回への期待も高い。

21 芸術学部 デザイン学科 宇佐美研究室
御船町 みんなで創る みふね舞台の会サポート

御船町に伝わる物語を戯曲化、舞台劇としての上演をめざす「みふね舞台の会」のワークショップに参画。地域の方々と共に脚本により今夏、約30分の上演を支援する。

25 工学部 エコデザイン学科 上杉研究室
阿蘇市 バイオマスタウンツアー

阿蘇市の「まちづくり基本構想」を土台に、バイオマスタウンにおける観光の在り方を考察。その方法論の提案に結びつくバイオマスタウンをフィールドワークとして行った。



九州 沖縄

県人の発見

崇城大学生の約90%を占める九州・沖縄8県の出身者。
 そんな彼女ら彼らがこのキャンパスでの出会いや学びから、
 どんな夢や目標、新しい自分や故郷への想いを見つけたのか。
 8県8名の発見を紹介します。

series_05@01 熊本県人
 情報学部 情報学科4年次生
 村上 詩織さん
 熊本県 宇土高校出身

●「毎日こんなに楽しくていいの？」ってほど充実しています。それはサークルやクラスで出会った仲間たちがいるから。そんな彼らと一緒に、夢中になって様々なことにチャレンジしたおかげで自分の価値観や世界が広がり、夢や目標をもつことができました。最高の仲間たちです!!



ゆかいな
仲間たち

series_05@02 福岡県人
 芸術学部 美術学科4年次生
 中村 春香さん
 福岡県 東筑紫学園高校出身

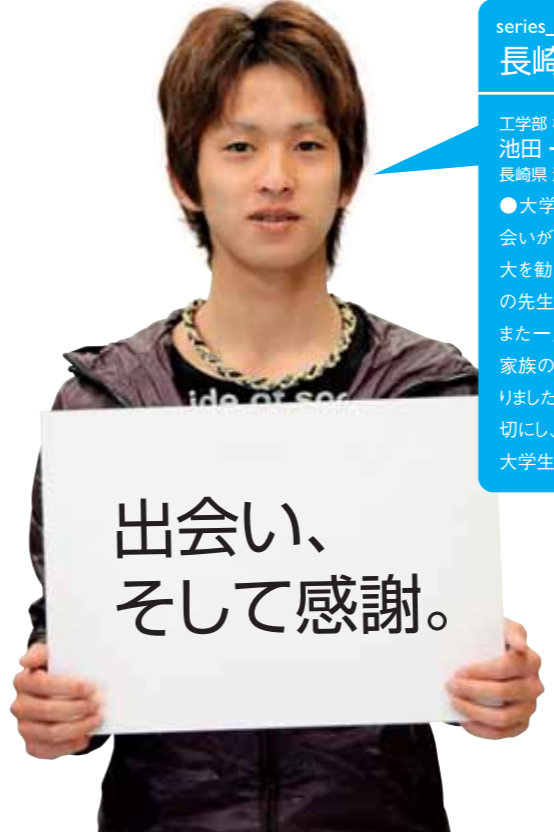
●得意じゃなくても、興味のあるものは何でも挑戦してみた。委員会活動も、作品制作も、アルバイトも、すべて不器用なりに積極的に向き合った。何事にも興味を持つことが大切。得意・苦手の意識は関係ない。自分の好きなことなら頑張れる。



何でも挑戦!!

series_05@05 長崎県人
 工学部 機械工学科2年次生
 池田 一哉くん
 長崎県 清峰高校出身

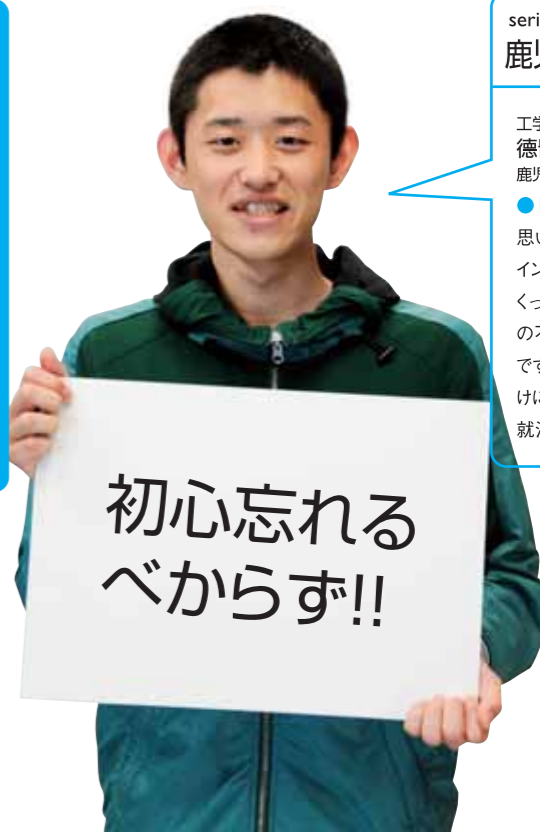
●大学に入り多くの新しい出会いがありました。それは崇城大を動めてくれた家族や高校の先生のおかげだと思います。また一人暮らしを始めてから、家族のありがたみがとてもわかりました。これからも出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れず、大学生活を楽しみたいです。



出会い、
そして感謝。

series_05@06 鹿児島県人
 工学部 エコデザイン学科4年次生
 徳留 沙巴さん
 鹿児島県 鹿屋工業高校出身

●「大きなモノをつくりたい!!」と思い入学しました。今、エコデザインプロジェクトでピトープをつくっています。一時、建設業界の不況から冷めつつあった想いですが、このプロジェクトをきっかけに「初心の熱い想い」が復活。就活、がんばります!!



初心忘れる
べからず!!

series_05@04 宮崎県人
 薬学部 薬学科3年次生
 樋口 祐佳さん
 宮崎県 日向学院高校出身

●入学するまでは県外の大学で勉強することへの不安を抱えていましたが、今では思い出せないほど(笑)、そんな不安はなくなりました。でもある時期、大学を辞めることも考えるほど悩んでいたのですが、そんな私を支えてくれたのが親や友人でした。周りの人の支えがあるからここで頑張れる、今ではそう思っています。



大学での出会いは
人生の財産

series_05@03 大分県人
 工学部 建築学科4年次生
 工藤 雄高くん
 大分県 大分工業高校出身

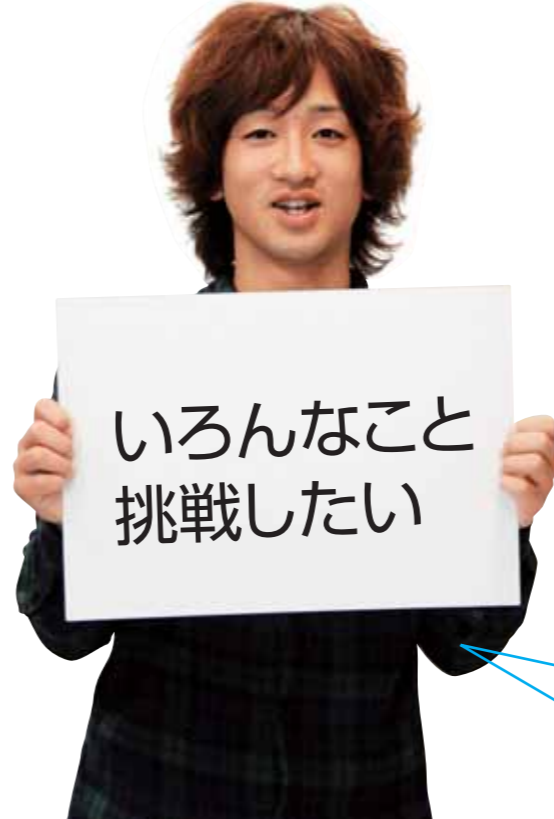
●高校を卒業する時、就職するという選択肢もありましたが、いろんな経験をしてみたいと思い、崇城大への進学を決めました。大学では九州全県から来ている友人と出会い、地元には広がらない友人の輪を広げることができました。この出会いは自分にとって宝です。



周りの人に
恵まれています

series_05@08 沖縄県人
 生物生命学部 応用微生物工学科4年次生
 大城 麻里奈さん
 沖縄県 糸満高校出身

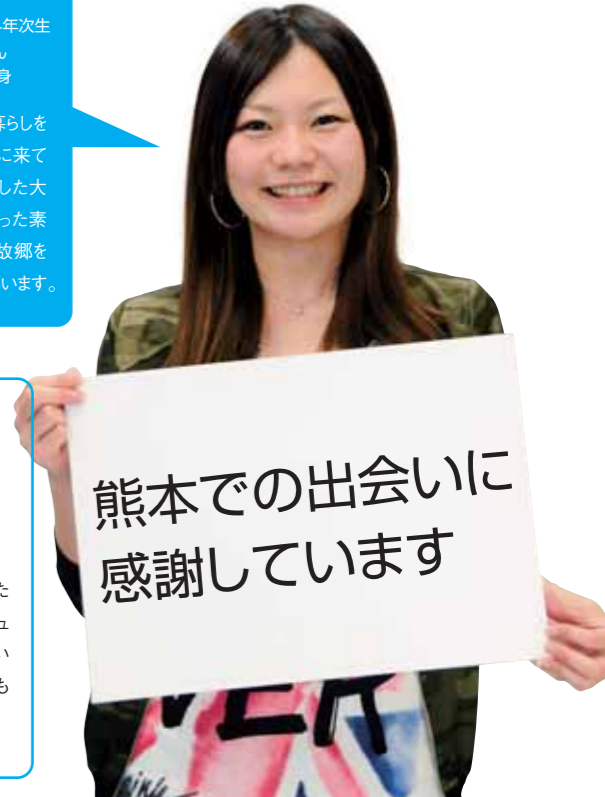
●入学するまでは沖縄をはなれ、一人暮らしをすることがとても不安でした。でも熊本に来てみると友人に恵まれ、とても楽しく充実した大学生活を過ごせています。ここで出会った素晴らしい人たちに感謝しつつ、今は「故郷をはなれることも良い経験だった」と思っています。



いろんなこと
挑戦したい

series_05@07 佐賀県人
 工学部 宇宙航空システム工学科2年次生
 堀田 祥平くん
 佐賀県 伊万里高校出身

●英語が苦手ですが、話せるようになりたいと思っています。そして多くの人とコミュニケーションし、いろんな人とつながりたいと思っています。そのためにも、これからいろんなことに挑戦したいです。



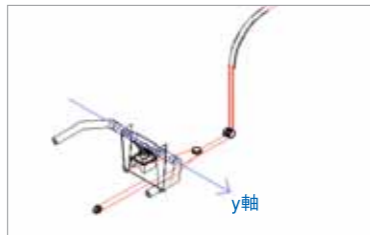
熊本での出会いに
感謝しています

システムを目的に沿って稼働させる技術の 基盤となる誘導制御を理論と実験からアプローチ



HASHIMOTO Laboratory

- 日常生活にあふれる機械(自動車や電化製品など)の多くには、制御技術が使われています。開催中の上海万博・日本館でも最新ロボットなどのハイテク製品が紹介されていますが、それを支える分野のひとつが「制御」です。
- その基盤である制御理論は、実行可能な手段を駆使して、システムを可能な限り目的に沿うように稼働させるための理論です。本学科が関係する航空宇宙機の分野でも制御技術は重要であり、自動操縦システムは制御技術の応用です(この分野は「誘導制御」と呼ばれています)。
- ところで、この世の多く(ほぼすべて)のモノには故障や破損が生じます。電化製品や自動車も故障しますが、故障しても電源を切ったりエンジンを止めたりして何とかその場を凌げることもあります。
- 当然、航空宇宙機も故障しますが、空中で停止はできません。航空宇宙機はたとえ故障しても、墜落しないように飛び続けたり、緊急に着陸する必要があるのです。優れた機長の判断により墜落を回避できることもありますが、パイロットだけでは対応不能な場合もあり、パイロットを助けたりパイロットに代わって操縦するための仕組み、すなわち、耐故障飛行制御システム(異常検知診断対処システムの一つ)が必要になるのです。
- このシステムは、例えば交通事故の際に、損傷箇所を見つけて、その程度を把握し、生命を維持できるように何らかの処置をする、まるで救命救急医のような存在です。



●操縦装置(操縦桿から水平尾翼までの概念図)



工学部
宇宙航空システム工学科
誘導制御研究室
●指導教員/橋本毅 教授(工学博士)
●専門分野/航空宇宙機誘導制御

研究室の卒業研究について

- 宇宙航空システム工学科では卒業研究として、人力で飛行する軽量航空機を製作しています。材料構造、流体、熱、制御などを専門とする各研究室が、胴体、翼、プロペラ、操縦装置などを分担して開発します。完成した機体は、飛行試験のために飛ばしたり、琵琶湖で行われる鳥人間大会に出場したりします。
- 私たちの研究室は、操縦装置の部分を担当しており、垂直尾翼と水平尾翼をワイヤーで引っ張るタイプの操縦装置を主として製作していますが、小さなコンピュータ(マイコン)によりサーボモータを介して垂直尾翼や水平尾翼を動かすフライバイワイヤ方式の開発も行っています。今後、自動操縦も可能になるかもしれません。
- 今年は、日本で最初に飛行機が飛んでから100年目にあたります。今年度の卒業研究は当時26馬力ほどのエンジンで飛んでいたその飛行機(ハンスグレーデ機)を、現代の技術を使って、約100分の1のパワーしか出せない人力(頑張っても0.3馬力程度)で飛ばそうという無謀な(?)挑戦をすることになりました。応援のほど、よろしくお願い致します。

学生にきく



工学部
宇宙航空システム工学科4年次生
安心院 和也くん
大分県 四日市高校出身

自身の研究テーマは?

●卒業研究として「FBW(Fly by wire)による人力飛行機の翼の制御」に取り組んでいます。現在、崇城大学の人力機はワイヤーを操縦桿から尾翼まで張り垂直尾翼と水平尾翼の2軸を制御しています。しかしそれはパイロットへの負担が大きくなるため、電氣的に翼の制御をしてパイロットに掛かる負荷を減らすことが出来るための装置を作る研究をしています。このテーマを選んだ理由は、FBWは何年もかけて研究されていますが、まだ完成に至っていないからです。また、学科では履修できない分野も一緒に勉強できるのでこのテーマを選びました。

研究室の雰囲気は?

●みんなの仲が良く、とても楽しい毎日過ごしています。また音楽好きが集まっていることもあり、研究室はいつも音楽に溢れています。

橋本教授はどんな先生?

●とてもユニークで、学生を大切にしてくれる先生です。授業も理解しやすいし、とても面白いです。「机の上で問題を解くよりも実際にモノを動かしてそこから何かを得るほうが面白い」と考えておられる教授であり、研究の初期段階には車輪型ロボット教材を用意してくださいました。そのように、いつも一緒に楽しみながら、試行錯誤しつつモノを動かして勉強させてもらっています。宇宙航空システム工学科にはやさしく、良い教授が沢山いらっしゃいますが、その中でも代表格となるような教授の一人です。

IWAGAMI Laboratory



芸術学部
デザイン学科
岩上研究室
●指導教員/岩上孝二 准教授
●専門分野/グラフィックデザイン・空間デザイン

琳派をはじめとする江戸初期・中期に見られる 神秘性あふれるまでに簡素化された美しさを追究

- 研究テーマは「琳派をはじめとする江戸初期・中期に見られる、神秘性あふれるまでに簡素化された美しさの表現」です。現代のテクノロジー表現とはちがった、人の技としての洗練の高さを現代へ伝える「デザイン感」として解析し、研究しています。
- デザインは機能性の追求、問題解決や目的の達成に答えを出す行為でもあります。デザインは「美しいこと」が最も大切なことではないでしょうか。プロのグラフィックデザイナーをめざす学生たちは、技術に加えてなにを身につけるべきなのか。その答えは幾多もあるのは当然ながら、私の研究室ではクリエイティブテーマを「日本」とし、この国に暮らしてこそ育まれた自分自身の美意識に向きあうことから始めさせます。
- 日本が世界に誇るアート、琳派に見られる「余白の美」を表現できる感性を身につけることの難しさは並大抵ではありませんが、意図的には計算できない情感や感性の視覚表現のヒントは、世界と比較した日本人の宗教観や、古くから伝承されている科学の比例法などにあるのではないのでしょうか。
- 「余白の美」がデザインできれば、プロとして通用するレベルが限りなく高まるのも事実。そのような志を抱き、大いに学んで欲しいと思います。



●熊本城 戌支櫓

学生にきく



芸術学部
デザイン学科4年次生
西住 慧さん
福岡県 明光学園高校出身

自身の研究テーマについて

●私の研究テーマは「紙の特質を活かしたファッションの提案」です。私はお洒落をするのが「いきがい」なほどなため、大好きな洋服を以前から制作したいと考えてました。素材としては、デザイン学科生にとって最も身近な紙に着目、デザイン領域の広がりを見たいと思っています。

●なお岩上先生の研究には「日本」というものが常にあります。日本人が感じる「余白」や「簡素」からくる美意識は、自分のデザインにも取り入れていきたいものですし、とても興味深いです。

研究室の雰囲気は?

●みんな仲が良いです。私はけっこう無口なのですが、みんなの間ではツッコみ役とボケ役が決まっている感じで、それを見てたらお腹が痛くなるくらい笑えます。

岩上准教授はどんな先生?

●「博学多才」な先生です。ひとつの事柄から枝が広がるように、いろんな文化や、それに至るまでのデザイン界の歴史的背景などを展開してくださるので、学生の知識も深まります。また面白いイベントを次々と企画してくださったり、みんなの「ババ」的存在でもあります。

最近の主な活動


- 社団法人「日本グラフィックデザイナー協会(全国会員数2800名)」九州地域代表幹事として、デザインの地域社会普及、デザイン啓蒙教育などを主軸にワンディスクール、デザインセミナー、デザインエキシビションの企画運営に携わる。
 - 2009年12月、東京ミッドタウン・デザインハブ企画展「クロス展」に作品出品。
 - 2010年版「ハロー-365カレンダー」プロジェクトに作品採用され、第60回「GKSカレンダー展」で銅賞を受賞。
 - 2010年4月、博多マリバレン・デザイン特区企画展「おいしいデザイン展」に作品出品。
- <これまでの主な受賞歴>
- 日本グラフィックデザイナー協会新人賞
 - アジアパシフィック国際ポスター公募展金賞
 - ニューヨーク近代美術館へポスター・パーマネントコレクションハンブルグ美術館へポスター・パーマネントコレクションなど

新任
教員

本学に今春、19名の教員が新たに着任されました。
SILC*のネイティブスピーカー講師10名もふくめ、
新しい学びや出会い、交流を楽しみましょう。

*Sojo International Learning Center
●所属 ●職位 ●前職 ●専門 ●メッセージ

総合教育



河口 和幸
●総合教育 ●教授
●熊本ファミリー銀行 顧問
●経済・金融・社会政策
●幅広く教養を身につけ、社会での飛躍に備えてください。

園部 博範 ●総合教育 ●准教授 ●熊本県福祉総合相談所 ●臨床心理学 カウンセリング学 ●学生支援センターにいます。気軽に訪ねてください。

木村 勝美 ●総合教育 ●准教授 ●熊本県教育庁 首席教育審議員 兼 義務教育課長 ●教育学 ●将来の夢の実現に向けて努力を!! 努力すれば必ず道は開けます。

西村 陽一 ●総合教育 ●准教授 ●熊本県立 熊本商業高校 校長 ●商業教育 ●「なぜなんだろう」「どうしてだろう」という疑問を持つ心を大切にしてください。

八田 豊 ●総合教育 ●准教授 ●熊本県立 八代工業高校 校長 ●工業教育 ●今が大事!! 君よ可能性を信じ、独創に徹する努力の天才であれ!!

原 誠士 ●総合教育 ●助教 ●北京外国語大学 専攻 ●中国古代思想 ●社会生活は挨拶から。崇城大学には挨拶をする学生が多く感じています。

大嶋 康裕 ●総合教育 ●助教 ●熊本大学 大学院自然科学研究科COE技術支援者 ●数学 教育工学 ●「なぜだろう」と疑問をもって、考える習慣をつけることを望みます。

工学部



原田 昭治
●機械工学科 ●教授
●九州工業大学 教授
●破壊力学 材料強度学 工学教育 ●小さな完成品より、大きな未完成品になることをめざし、広く文系・理系の勉強を!!




土橋 和之
●ナノサイエンス学科 ●教授 ●メルシャン株式会社 ●バイオインダストリー協会 事業推進部長 ●天然物化学 ●持続可能な社会の担い手になれるよう、学問・研究に励んでください。




渡辺 武憲
●宇宙航空システム工学科 ●教授 ●株式会社JALエクスプレス代表取締役社長 ●航空運輸経営分析 ●エアライン勤務40年の多くの知識を皆さんに伝え、一緒に明日のエアラインを考えていきたいと思ひます。

工学部



喜川 一矢
●宇宙航空システム工学科 ●教授 ●全日本空輸株式会社 整備本部教育訓練部専門訓練チームリーダー ●航空機整備 ●航空機の原理原則は不変のものであり、しっかりと基礎を身につけ、筋肉質で活力ある整備士をめざしてください。



本保 基人
●建築学科 ●教授 ●株式会社坂倉建築研究所 取締役大阪事務所長 ●建築設計 建築計画 ●人を幸せにするデザインをめざしてください。

生物生命学部



松本 清
●応用微生物工学科 ●教授 ●九州大学 大学院農学研究院 教授 ●食品微生物学 食品分析学 ●人間力を磨くよう心がけ、日常生活をおくることが大切です。



安藤 祥司
●応用微生物工学科 ●教授 ●佐賀大学医学部 准教授 ●生物化学・蛋白質工学 ●生物の主要な構成成分である蛋白質の不思議さ・面白さを一緒に探ってみませんか。

芸術学部

飯田 晴彦
●デザイン学科 ●准教授 ●首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアートコース 准教授 ●プロダクトデザイン 工学デザイン教育 ●私自身の経験を少しでも多くみなさんに伝えられたらと思います。

薬学部

石田 卓巳
●薬学科 ●准教授 ●九州大学 大学院薬学研究院 助教 ●毒性学 薬物代謝学 ●「よく学びよく遊び」の精神のもと、学生生活を楽しんでください。

中野 志保
●薬学科 ●助手 ●熊本大学 大学院医学教育修士課程修了 ●分子生物学 ●勉強やサークルの他にもいろんなことにチャレンジし、多くのことを吸収してください。

SILC

ジョナサン ローベリー 講師 Jonathan Rowberry
クリストファー スティルウェル 講師 Christopher Stillwell
スコット クロウ 講師 Scott Crowe
アリン ロジャー 講師 Alun Roger
デビッド ボレン 講師 David Bollen
クリストファー ワイル 講師 Christopher Wyle

ピーター リー 講師 Peter Lee
メリタ グラトウィック 講師 Melita Gratwick
ラシェル メイヤー 講師 Rachelle Meilleur
トレイシー フランズ 講師 Tracy Franz

平成22年度 科学研究費補助金 受給実績

科学研究費補助金とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり基礎から応用までの学術研究を進展させることを目的とした「競争的資金」であり、専門分野の審査員により審査されて助成される補助金である。

分野	学科	職	氏名	交付金額	研究課題
新学術領域研究	応用生命工学科	教授	上岡 龍一	15,470,000円	細胞膜及び人工膜の揺らぎが関与する制がん機能メカニズム
	ナノサイエンス学科	教授	新海 征治	14,040,000円	分子認識を駆使する高分子超構造体の創製と機能
他1件をふくむ 計33,020,000円の交付を受ける					
若手研究 (B)	薬学科	助教	首藤 恵子	2,210,000円	TLRシグナル制御分子SIGIRR/TIR8蛋白質の細胞内制御機構の解明
他5件をふくむ 計8,320,000円の交付を受ける					
基盤研究 (A)	ナノサイエンス学科	教授	新海 征治	9,100,000円	超階層性天然高分子-分子認識・超構造・機能発現
基盤研究 (B)	薬学科	教授	小田切 優樹	4,680,000円	アルブミン融合技術を基盤としたレドックス制御ナノメディスンの開発
他1件をふくむ 計10,010,000円の交付を受ける					
基盤研究 (C)	情報学科	教授	宗像 誠	2,210,000円	巨大一軸異方性磁界を誘導した20GHz超動作のマイクロ波電磁界収束材料の開発
	エコデザイン学科	准教授	荒牧 憲隆	2,730,000円	木質系バイオマス炭化材の地盤材料への適用性に関する研究
	建築学科	教授	村上 泰浩	1,820,000円	九州新幹線および特殊仮線工法によるJR鹿児島本線の騒音・振動に関する社会調査
	薬学科	教授	上釜 兼人	3,250,000円	シクロデキストリンの超分子機能を用いた患者に優しいスーパージェネリック製剤の構築
他16件をふくむ 計28,730,000円の交付を受ける					
挑戦的萌芽研究	応用微生物工学科	教授	新 隆志	1,200,000円	豊富な微生物資源の潜在機能を描き出す新規な微生物探索系構築と発酵生産への応用
	応用生命工学科	教授	塩谷 捨明	1,600,000円	植物体への直接遺伝子導入による新規オンサイト形質転換法
他4件をふくむ 計8,600,000円の交付を受ける					
特 奨励	ナノサイエンス学科	教授	新海 征治	600,000円	カーボンナノチューブや有機ゲル線維のような1次元超構造より機能材料を創製する
交 付 金 額 総 計				98,380,000円	

NHK大学ロボコン2010に出場し、「特別賞」受賞!!

太平洋・アジア地域の国を代表する大学生チームで競技する「ABUアジア・太平洋ロボコン(本年度開催国エジプト)」の日本代表を選考する「NHK大学ロボコン2010」の第二次選考(ビデオ審査)に、本学ロボット研究会が合格し全国大会出場が決定した。全国大会は6月6日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた。初戦では、緊張感も見られたが、2戦目では実力が発揮でき、「特別賞」を受賞した。



上岡龍一教授が「熊本県公立高等学校理数科研究発表大会」で講演

2009年12月4日、生物生命学部応用生命工学科の上岡龍一教授が、本学で開催された「平成21年度熊本県公立高等学校理数科研究発表大会講演会」で依頼講演を行った。県内公立高校6校から約450名の高校生と教員が参加し、「天然素材を用いる副作用の無い制がん効果〜研究テーマは身近なところに」と題した講演に熱心に耳を傾けた。がん治療薬の開発やがん予防に関する上岡教授の実体験をもとにしたユーモアあふれる講演は、研究者や技術者をめざす理数系の高校生に強烈なインパクトを与えたようで、参加者から、最先端の研究者も顔負けの鋭い質問が寄せられた。



7月31日[土]開催

市民公開セミナー
観た!聴いた!知った!
ナノの世界と未来の科学
高校関係者による研究発表会
サイエンスインターハイ@SOJO

崇城大学ナノ領域研究教育推進委員会(通称RENS)では「地域社会に貢献する大学」の趣旨のもと、来る7月31日[土]に平成22年度RENS企画「市民公開セミナー」を開催します。これは広く一般の方々を対象に、「ナノとは?」「ナノテクノロジー・ナノバイオテクノロジーって?」という疑問にお答することを目的としており、本学教授陣に加え、国内の大学・企業からナノ領域研究に関する著名な講師を招き、「観た!聴いた!知った!ナノの世界と未来の科学」と題して、現在の潮流とこれからの先端研究に対する展望などについて討論します。加えて、高大連携活動の一環として、高校生・高校教員による研究発表会「サイエンスインターハイ@SOJO」も同時開催します。参加ご希望の方は下記までお問い合わせください。(詳細は下記URL参照)

<お問い合わせ先>
崇城大学 工学部 ナノサイエンス学科 准教授 田丸俊一
TEL.096-326-3111(代表)
<http://www.nano.sojo-u.ac.jp/support/top1.html>

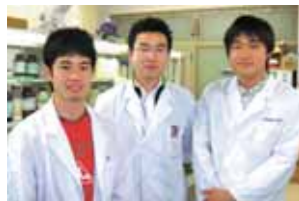


建築学科学生が熊本市・新町で古民家の再生計画案を発表

工学部・建築学科では3年次後期にまちづくりをテーマにした課題を行っており、昨年度は「熊本市・新町の町屋再生」について取り組んだ。地元の方々のご協力をいただき、3月13日に新町の町屋「鍵屋」にて、その成果を発表した。学生は18名が4チームに分かれて4つの町屋について取り組み、各チームとも2つの異なる計画案を発表した。ひとつは現在の住人の意向を反映した計画、あとひとつは学生の自由な発想による提案だった。課題に取り組む間、何度も学生たちに対応していただいた住人の方々も、発表内容に驚いたり、うなずいたり、興味深く聞いていただいた。



応用微生物工学専攻の大学院生らが「日本農芸化学会2010年度大会」で研究成果を発表



左から竹野さん・加藤さん・大嶋さん

3月28日から30日、東京大学農学部で開催された「日本農芸化学会2010年度大会」で大学院修士課程・応用微生物工学専攻1年次生の大嶋一史さん(熊本県・熊本西高校出身)、同2年次生の加藤貴則さん(東京都・飛鳥高校出身)、大学院博士後期課程・応用微生物工学専攻3年次生の竹野正臣さん(長崎県・五島高校出身)および生物生命学部・応用微生物工学専攻の岡拓二准教授が研究成果を発表した。本会はバイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とする多彩な領域の研究者、技術者、学生が研究成果を発表し議論する場。発表した院生にとってはとても良い経験になり、研究を行う上での大きな励みになったと思われる。

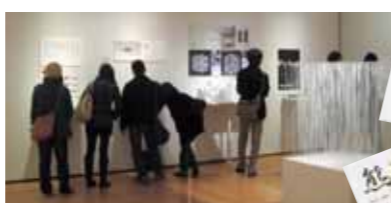
「崇城大学芸術学部美術学科学生作品展」を開催

3月4日から11日まで「崇城大学芸術学部美術学科学生制作展」が崇城大学ギャラリーで開催された。これは芸術学部・美術学科の1・2・3年次生が、大学での1年間の制作・研究の成果を熊本に発信する試みであり、昨年から開催している。日本画・洋画・彫刻の学生が日々制作に打ち込み、悩みながら葛藤したものが形となり、若い才能のバラエティに富んだ作品を展示。一方、芸術文化は少数ながら自分たちの現在の課題を、制作をふくむ様々なメディアで展示した。「卒業制作・修了制作展」とは異なり、新たな可能性に満ちた才能が垣間見れた。制作・研究集団としての美術学科の日頃の取り組みを1年に1度、このような作品展でお披露目できることは、学生にとっても刺激であり、社会とのつながりを意識し、制作・研究の動機づけをしっかりと肌で感じる機会を得たのではないだろうか。



美術・芸術系学生と企業を結ぶ就活アート展「美ナビ展」に学生3名が入選

この春(3月12日から28日)世相を反映したユニークな展覧会、美術・芸術系学生と企業を結ぶ就活アート展「美ナビ展」が東京・六本木ヒルズ森タワー52階「森アートセンターギャラリー」で開催された。全国400点の応募の中からプロのクリエイターや企業の採用担当により選考された150点が展示され、その中に崇城大学芸術学部から3名が入選した。また実際の作品展示やプレゼンテーションは就職活動の場にもなり、今までにない新しいタイプの展覧会として話題になった。



地産地消推進の情報誌「熊本野菜」

<ファインアート部門 入選>

● Miragi / 大学院博士後期課程 芸術学専攻2010年3月単位取得退学 田原迫華さん(鹿児島県・鹿児島大学出身)

<デザイン部門 入選>

● 地産地消推進の情報誌制作 / 大学院修士課程 デザイン専攻2年次生 熊野しおりさん(熊本県・南関高校出身)

● ヘそ曲がりの画紙 / 芸術学部 デザイン学科4年次生 川上泰典くん(熊本県・人吉高校出身)



へそ曲がりの画紙

薬学部生40名が「AHA BLS Healthcare Provider」資格を取得

薬学部4年次生(現5年次生)40名が米国心臓協会(AHA)認定「BLS Healthcare Provider」コースを3月に受講、全員が試験に合格した。これは目の前で心肺停止状態となった人へ、救急救命士や医師に引き継ぐまでの間に適切な蘇生法が実施できることを証明するものである。なお同コースには第1期生17名(2009年3月卒業)もリニューアル受講し、同資格の更新を行った。



資格取得情報

2009年度 上級バイオ技術者認定試験(日本バイオ技術教育学会)合格者

<生物生命学部 応用微生物工学専攻4年次生>

● 畠山 信太郎くん(島根県・松江東高校出身) ● 牧野 正哉くん(長崎県・西陵高校出身)

<生物生命学部 応用生命科学専攻4年次生>

● 金子 裕美さん(熊本県・第一高校出身) ● 猿渡 佳寿美さん(熊本県・熊本信愛女学院高校出身) ● 竹田 祐輝くん(福岡県・小倉南高校出身)

● 西方 龍太郎くん(鹿児島県・錦江湾高校出身) ● 宮崎 麻美さん(佐賀県・武雄高校出身) ● 本山 彩霞さん(埼玉県・越谷北高校出身)

● 矢島 琢己くん(東京都・杉並学院高校出身) ● 山口 和晃くん(長崎県・佐世保西高校出身) ● 吉川 舞さん(大分県・竹田高校出身)

中級バイオ技術者認定試験には応用微生物工学専攻から35名、応用生命科学専攻から9名が合格しています。

THE HISTORY OF A PROFESSOR

教授に歴史あり……シリーズ⑬

化学実験のまねごとで遊ぶ少年が 大学院の研究室で実験にのめりこみ 企業の研究員から本学の教授へ

小学生の頃 庭先で乾電池を崩して 化学実験のまねごと

●小学生の頃、実家の庭先でインスタントコーヒーの空き瓶を使い、乾電池を崩した酸化マンガンに触媒にし、オキシフル(過酸化水素水)から酸素を発生させてマッチの火を近づけたりする化学実験のまねをしていました。今になって思えば、それが現在の研究のルーツかもしれません……危険なので、良い子はまねをしてはいけません!!(笑)



●大学院に進み、研究室では村上幸人先生や青山宏安先生のご指導を受け、実験にのめりこむ中で合成化学の面白さを教えていただきました。

高校時代 理系を志したのは 2年生の半ば

●高校では2年の半ばまで理系に進むか文系に進むか決めていませんでした。そのころに有機化学の勉強や実験をし、物質を自由に化けさせられる面白さに惹かれて合成化学を志しました。



大学時代 弓道部の試合などで 全国各地を飛びまわる

●学部生(九州大学工学部合成化学科)の頃は、所属していた弓道部の試合などで全国各地を飛びまわるのが楽しかった。



●米国で行われた学会へ参加したメルジャン株式会社勤務していた頃の土橋教授(背景にあるのはニューヨークの今はなきツインタワー)

現在 天然化合物の多様な構造を 広く活用するために

●企業(メルジャン株式会社)で手懸けた研究テーマは医薬をめざした天然物スクリーニングでしたが、現在は天然化合物の多様な構造をもっと広く利用することができないかと考えています。
●学生時代に親しんだ弓道も50歳くらいから再び行うようになり、今も健康増進を兼ねて楽しんでいます。



工学部 ナノサイエンス学科
土橋 和之 教授(工学博士)

プロフィール●1951年、福岡県・大牟田市生まれ(さそり座)。福岡県立修猷館高校から九州大学工学部合成化学科へ進み、九州大学大学院工学研究科合成化学専攻修士課程を修了。メルジャン株式会社職中に財団法人「微生物化学研究会付属研究所」に派遣。専門は天然物化学。財団法人バイオインダストリー協会員。

学生諸君へ 科学を理解・活用できる “賢い社会人”になろう

●今の社会では似非(えせ)科学による怪しげな商売や、根拠のない反科学主義が幅をきかせています。理系の大学で学ぶ皆さんには、まずは科学技術を理解し、活用できる知識をもった“賢い社会人”になって卒業してほしい。
●それには分野を問わず、本や資料をたくさん読んでもらいたいですね。



卒業生直撃 interview

将来の家業（建設業）承継と発展を見据え 勤務先の会社運営にも深く関与

株式会社クレディス

● 笹川 俊一さん

2005年3月 工学部 建築学科卒業 / 佐賀県 佐賀工業高校（建築学科）出身



現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

- 福岡にある「株式会社クレディス」というフルオーダーの注文住宅・リノベーション・分譲住宅の設計施工を手懸ける会社に勤めています。
- 現場監理から設計、営業を経て、現在は会社運営に関するブランディング戦略やイベント企画、ウェブ管理など、建築以外の業務を行っています。

学生時代の思い出を教えてください

- 2年次生の頃に行ったヨーロッパ研修旅行。ル・コルビュジェ（建築家）が手懸けた作品に触れ、その後の建築に対する思考が大きく変化したことを覚えています。
- 4年次には数多くのコンペに参加し様々な建築家の方とディスカッションができたこと、まちづくりと駅舎保存のために上熊本駅で行われるコンサートを企画・デザイン・運営したこと、いろんなことが思い出されます。しかし何よりの思い出は、卒業設計の作品が九州ブロック代表の1作品となり「JIA全国学生卒業設計コンクール」に出品できたことです。とはいえ正直、語りつくせないほど多くの思い出がありますね。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

- 自分の限界を決めず、失敗を恐れず本気でぶつかって行く精神。なにごとにも熱く一生懸命になることで、相手に自分の想いを伝えること。4年次の研究室で学んだ客観的な視点を持ち冷静に物事を判断する力。これらが限

られた時間の中で仕事をこなさなければならない、現在の仕事に大きく役立っていると思います。

将来の夢を教えてください

- 将来は実家の会社（建設業）を継ぎ、これまで経験してきたことを土台に、出会った方々を巻き込んでこれまで以上に魅力的な会社をつくり、お客様の想いに応えられる柔軟な企業づくりをめざしています。それまでに自分に足りないものをどんどん吸収し、チャレンジしていきたいと思っています。

崇城大に学ぶ後輩たちへ

アドバイスやメッセージをお願いします

- 懸命に学ぶのは当然ですが、講義がすべてではないと思います。限られた時間を有効活用し、将来の自分の理想像を見据えて今できること、今やりたいと思うこと、どんなことでもよいので一生懸命やってください。その経験が活躍の時に必ずやってきますから!!

卒業生直撃 interview

病院の免疫医学研究室に勤務し がんの新たな免疫療法を研究

医療法人起生会 表参道吉田病院 免疫医学研究室

● 船本 幸太さん

2004年3月 工学部 応用生命科学科卒業 / 2006年3月 大学院修士課程 応用生命科学専攻修了 / 2009年3月 大学院博士後期課程 応用生命科学専攻修了 / 長崎県 海星高校出身



現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

- 勤務先は熊本市にある医療法人起生会「表参道吉田病院」免疫医学研究室です。仕事内容は院内にある細胞培養センターにて、がんの免疫治療で来院された患者さんの血液から免疫細胞を分離し、治療に適した数まで培養することです。新しい免疫療法を開発するための研究も行っています。

学生時代の思い出を教えてください

- 夜遅くまで実験したあと、気分転換にボーリングやカラオケによく行っていました。実験して、気分転換して、また翌日の朝から実験して……よく体がもっていたなあと思っています。とにかく、実験も遊びも全力投球でしたね!!

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

- 学部4年次から博士課程を修了するまで、6年間を過ごした上岡研究室で身につけた培養技術、実験データの整理、プレゼンテーション能力、これらが今の仕事では大いに役立っています。

将来の夢を教えてください

- がんを治る病気にしたいです。世の中の「がん＝死」というイメージを払拭したいですね。研究者として、インパクトある発見ができればよいと思います。

崇城大に学ぶ後輩たちへ

アドバイスやメッセージをお願いします

- 教授の先生をはじめ、先輩や同級生、後輩との繋がりを大切にしてください。大学時代に築き上げた人と人との繋がりは、社会に出たときに自分にとって大きな武器になります。

INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

2009年度芸術学部海外研修

2009年度芸術学部海外研修が3月1日に出発し、同9日に帰国した。研修先はアメリカ・ニューヨーク。参加は引率教員のデザイン学科、山下教授と森野教授をふくむ12名。芸術学部の学生として必要な教養の涵養に取り組んだ。また美術学科とデザイン学科、それぞれの専門分野の視点からの観察・学習を「MoMA」や「メトロポリタン美術館」をはじめ、ミュージカル「Blue Man Group」、インテリアデザイン、都市空間、歴史的建造物などに直接ふれることで、これからの創作活動や人生における視野の拡大へ、大きな収穫を得たと思われる。加えて、英語によるコミュニケーションの必要性を痛感させたことも数ある成果のひとつであり、デザイン会社やアーティストの活動の場を見学させていただき、現場の声や雰囲気を感じる機会があったことも有意義だった。さらにパーソンズ芸術大学では案内してもらった機会にも恵まれ、学生たちは想像を絶するインスピレーションを受けたにちがいない。



CLUBS' ACTIVITY

美井展・井芹祭への参加をはじめ 2級建築士試験に向けての演習も行う

- 主な活動内容は、美井展・井芹祭への参加や各自が出展するコンペティション等です。今年からは建築系のDVD鑑賞や2級建築士試験に向けての模擬演習を行います。活動は水曜・金曜の週2日です。
- そのような建築研究同好会は、個々の自主性を大切にしています。そのため、先の活動以外でも何かやりたいことがあれば、先輩も快く協力します。一緒に切磋琢磨しつつ楽しみながら活動しましょう。
- また、建築研究同好会はまだ発足4年目です。試行錯誤しながら、3年間活動してきました。しかし後輩がいないのが残念でなりません。これを読んで「我こそは!!」と思った建築学科の1年次生や2・3年次生を大歓迎します。興味・関心のある人は、気軽にJ号館6F「磯田研究室」を訪ねてください。

会長 / 工学部 建築学科4年次生
米次 皇貴くん
鹿児島県 錦江湾高校出身

建築研究同好会



ソフトテニス部



九州2部リーグ昇格に向けて 全員が高い意識をもって練習

- キャプテンを中心に日々、練習に励んでいます。ひとり一人がソフトテニスに高い意識をもち、九州2部リーグ昇格に向けて頑張っています。昨年は九州大会でも好成績をあげ、個人戦では全国大会にも出場しました。先日の大会でも3位になりました。
- 先輩・後輩という関係をこえて皆の仲がよく、夏には合宿やいろんなイベントをして親睦を深めています。
- ソフトテニスの経験を問わず、興味のある方はテニスコートへ気軽に見学に来ててください。

キャプテン / 情報学部 情報学科2年次生
小原 隆之祐くん
鹿児島県 鹿児島南高校出身

これは私が大学に入学した頃、友人から薦められて読んだ推理小説です。その当時はいろんな推理小説を読み耽っていましたが、この本の結末はまったく予想できず、衝撃的なものでした。今でもその時の記憶が残っています。内容は「十角形という奇妙な形をした館が立つ孤島を訪れた大学生7人を襲う連続殺人」とTVドラマなどによく使われそうなプロットですが、実際は映像化が難しい作品でしょう。あまりに書き過ぎると読むときの面白さが減りますので書きませんが、本だからこそできる面白さを味わうことができます。とはいえ、その内容が面白いという、不謹慎と感じる人もいるかもしれませんが、あくまでフィクションということが前提であり、その条件下で結末を導くまでの過程とその答え合わせを楽しむ、将棋やチェスのような知的遊戯のひとつと捉えてください。



綾辻行人 著
十角館の殺人

写真の一枚は
講談社文庫刊

「孤島を訪れた大学生7人を襲う連続殺人」
推理小説好きの私も結末は予想できず
読後の衝撃は今も強く残っています

●工学部 機械工学科/森昭寿 助教

また、この著者の作品はこちらの予想を良い意味で裏切ります。特に本作品は読み終わったあと、もう一度読み直すと文章のひとつ一つが、まるで将棋の一手を指すように先を見通しつつ推敲されて綴られているのが判ります。推理小説は仕事や勉強に直接役立つことが書いてあるというわけではありませんが、文章に書かれている意図を読み、創造力を働かせる力、情報を論理立てて整理する

力を養うことができると思います。本を読むのが苦手な理系の学生でも、数学的思考で読むことができます。苦手意識を持たずに読んでみてください。

心響の冊

This is my favorite book Series@09

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

言わずと知れた東野圭吾さんの本です。これまで数多くの作品が映画・TVドラマ化されています。映像化された作品はとも面白いのですが、私は原作の本を読む方が好きです。ミステリー小説は、作家がストーリーの中で様々な伏線を張っており、時には読者をちがう方向へ思い込ませることさえあります。これらは文章独特の表現により、ぼやかしながら伝えるものが多いですし、何より

ミステリー小説を読むことで
研究者にとって大切な
発想力が養われます

●薬学部 薬学科/大栗登敏 准教授

急展開で進む最後のクライマックスは、本の方がスピーディに感じられます。いつも展開を予想しながら読んではいませんが、予期せぬことばかりで驚かされ、作家の発想



東野圭吾 著
容疑者Xの献身

写真の一枚は
文春文庫版

力のすごさに圧倒されています。私はミステリー小説を読むことで、研究者にとって大切な発想力が養われると思っています。さて、これまで東野圭吾さんの多くのミステリー作品を読んできましたが、その中で私の心に最も響いたのが、この「容疑者Xの献身」です。2006年に直木賞を受賞した作品でもあります。主人公の物理学者が数々の難事件を解決していくシリーズものですが、この作品だけを讀んでも十分に面白いです。冒頭から事件の全容が書かれており、その完璧なトリックを物理学者があばくストーリーですが、後半で書かれていた真実を知ったときは驚愕でした。読み終わったあと、軽く放心状態になったほどです。タイトル中の「献身」という言葉の意味を力強く感じました。いつか、これほどの発想を私も思いつきたいものです。

LOCAL AREA COOPERATION

地域との連携

エコデザインプロジェクト「ビオトープをつくろう!!」

「ビオトープ池を芸術学部前の防災調整池につくる」という工学部エコデザイン学科の方針を受け、エコデザインプロジェクトが2009年夏に学生11名でスタートした。このプロジェクトは、エコキャンパスをめざす崇城大学の取組みに対応したものであり、大学東側にある長迫の池の“昭和20年代の姿”を再現するという目標を立てた。また、県内の中高生からビオトーププロジェクトのアイデアを募集し、応募の中の4件が一次審査を通過した。このビオトープ池では、その一次審査を通過した中高生生のアイデアを取り入れた形で造成する予定である。3月11日には、熊本市の花園小学校においてプロジェクトメンバー8人が5年生向け総合学習の時間に自然環境に関する授業を行った。また3月20日には、小学生向けイベント「ビオトープをつくろう」をビオトープ池で実施し

た。熱心な小学生とともに、周辺に住む生物の説明や植物(マコモ)の種播き、池の護岸づくりを行った(西日本新聞3月19日掲載)。さらに4月28日には、工学部エコデザイン学科の1年次生を対象とした「フレッシュマンゼミナール」と「緑化とビオトープ」の授業の一環として、マコモの播種や成長したマコモを大きなポットに移植するなどし、温室を追加した。今後は小中高校生らと植物や動物の設定、水神祭、芸術学部の学生との看板製作、8月22日の第3回オープンキャンパスでのエコデザインコンテスト表彰式などを予定している。



崇城大学「専門学校」からのお知らせ

2010 OPEN CAMPUS

7.3 ± 7.24 ± 8.7 ± 8.28 ± 9.11 ±

オープンキャンパスを開催

保護者同伴のオープンキャンパスを実施します。
もちろん生徒のみの参加もできます。

参加者全員に
粗品をプレゼント!

主な内容

● 学科内容・資格取得・就職等の説明・校内見学・体験学習

日程

- 7月3日 [土] 10:30~12:00 (保護者同伴可)
- 7月24日 [土] 10:30~12:00 (保護者同伴可)
- 8月7日 [土] 10:30~12:00
- 8月28日 [土] 10:30~12:00 (保護者同伴可)
- 9月11日 [土] 10:30~12:00 (保護者同伴可)

7月3日と8月7日は、国家資格対策講座希望者へ国家試験の概要、本校の実績、対策講座の年間計画やカリキュラムを説明します。その後には国家試験の問題を対象とした授業を行います。



参加申し込みは
メールや
インターネット
でもOK!

info@sojo-c.ac.jp
http://www.sojo-c.ac.jp/
TEL.096-323-1122
FAX.096-323-1449

崇城大学専門学校

〒860-0806 熊本市花畑町10番25号